

2026年度スクール型研修 学校法人グロービス経営大学院 単科・Pre-MBA法人利用規約の主な変更点

【法人担当者向け】

2026年1月13日

【グロービス経営大学院】法人利用規約の改定につきまして

この度、制度およびサービスの見直しに伴い、スクール関連の規約を一部改定いたしましたので、ご案内申し上げます。

■規約改定の背景と目的

これまで、スクールサービス全体を包括する形で「法人利用規約」「受講規約」を定めておりましたが、今回の改定より、以下の通り対象サービスおよび対象者ごとに明確に区分し、より分かりやすくご理解いただける構成へ変更いたしました。

■改定後の規約

- ・単科・Pre-MBA 法人利用規約
- ・法人本科情報開示登録利用規約

以下より最新の各規約をご確認いただけます。

法人利用規約・受講規約

<https://sh.globis.co.jp/hc/ja/articles/360018946693>

■主な変更点

既存内容の修正（軽微な修正、表現修正等）新規約の追加、記載項目への「条」数の付与、科目等履修生の提供終了する延長制度を削除、新設する地域限定単科生延長制度を追加 等

■変更日

2026年1月7日

【グロービス経営大学院】法人利用規約の新規項目一覧

項目	趣旨	修正内容
第5条（キャンセル・変更）	<p>1. 申込内容の変更又はキャンセルは、利用者からの申請があった場合に限り有効とします。受講生本人からの申請は、原則として受け付けません。</p> <p>2. 申込完了後に、誤登録の是正を目的とする場合を含め、受講生、科目・プログラム又はクラスの変更を希望する場合、利用者は、変更前の申込をキャンセルしたうえで、改めて申込締切日までに新しい申込を行わなければならないものとします。この場合、変更前の申込のキャンセルについては、本項に定める規定を適用しキャンセル料を利用者に請求するものとします。</p> <p>3. 開講日以降のキャンセル、科目及びプログラム・クラスの変更は不可とし、受講料全額を徴収します。納付された受講料は返金しません。</p> <p>4. 本規約第16条に定める禁止事項に該当し、当社が受講申込をキャンセルする際も、当該キャンセル料は本規約に従い発生し、利用者が負担するものとします。</p> <p>5. 開講日前において申込内容の変更・キャンセルをする場合は、受講料は、以下に則るものとします。</p> <p>(1) 当該クラス開講14日前までは、一切のキャンセル料は発生しないものとします。</p> <p>(2) 当該クラス開講13日前から前日までの期間は、入学金23,000円及び1科目あたりキャンセル料32,000円の合計額を徴収する。ただし、利用者からのお申し出内容により当社の判断で特別な事情があると認められる場合は、この限りではありません。</p> <p>6. 申込をキャンセルする場合、受講生は速やかにダウンロードした当該科目及びプログラムの教材を破棄していただきます。利用者は教材等が受講生によって確実に破棄されたことを確認する責任を負うものとします。</p> <p>7. 本項は当社都合の事由を除き、暴動、テロリズム、天災、疫病、又は当事者の合理的支配を超えた偶発的事象によりクラス開催が困難となった場合にも適用されるものとします。</p>	<p>申込後の変更・キャンセルに関するルールを明文化した。</p> <p>また、災害等による影響の規定を明確化した。</p>

【グロービス経営大学院】法人利用規約の新規項目一覧

項目	趣旨	修正内容
第6条（受講環境の整備）	<p>1. 利用者は、当社の定める受講環境基準に基づき、受講生に対しその監督者として適切な指導及び監督を行うものとし、受講生と共に受講に必要となるインターネット環境、ソフトウェア、機材等（以下「受講環境」という）の整備及び維持管理の責任を負うものとします。特に、セキュリティ対策を含め、受講に支障が生じないよう適切な措置を講じるものとします。</p> <p>2. 社内インターネット環境からの受講及び社用PC端末での受講を想定されている場合、以下の対応が必要になることがあります。</p> <p>(1) セキュリティにてインターネットアクセス先に制限がある場合：受講生マイページ、Zoomへのアクセス許可やホワイトリストへの登録</p> <p>(2) ファイルの添付・アップロード操作に制限がある場合：課題提出におけるファイル添付・アップロードの許可</p> <p>3. 利用者が前項の整備義務を怠ったことにより、受講生が受講できなかった場合、又は当該受講環境の不備に起因して十分な学習効果が得られなかった場合であっても、当社は一切の責任を負いません。</p> <p>4. 受講環境に起因する機材の故障、通信の不備、セキュリティ上の問題、その他受講生自身が契約する電気通信事業者に起因するトラブル等により受講に支障が生じた場合、当社は一切の補償、受講料の返金、振替、及び受講機会の提供等の義務を負わないものとします。</p> <p>5. 受講生が整備したインフラに起因するトラブルにより、他の受講生の受講環境を大きく損なうと当社が判断した場合には、受講環境が改善するまでの間、当該受講生の受講中断を求める場合があります。この受講環境の不備又はそれに伴う受講中断に起因する欠席や課題の未提出については、いかなる理由であっても特別な措置は適用されず、一切の不利益を被るものとします。トラブルとしてマイク・カメラ等の機器不具合、ファイルの送受信不良、通信環境の不安定さによる全体討議又はグループディスカッションの進行妨げ、意思疎通の困難その他これらに類する事由を含みますが、これらに限りません。</p>	オンライン受講の増加に伴い、受講生が使用するPC・ネットワーク環境の整備・維持管理の責任について明文化した。
第7条（クラスの閉講）	学習効果の観点から、受講生数が一定に達しない場合、あるいはやむを得ない事由が発生した場合、当社の判断でクラスを閉講することができます。クラスの閉講は、当該クラスの原則初回開講日の14日前までに決定し、閉講が決定した場合、担当者へ通知します。	法人利用規約としては、休講・変更に関する詳細な運営ルールは受講規約に委ね、閉講に関する条文として整理・明文化した。 通知先について明文化した。

【グロービス経営大学院】法人利用規約の新規項目一覧

項目	趣旨	修正内容
第9条（休学制度）	<p>1. 所属クラス開講以降、科目・プログラムの評価対象条件を満たせない場合、原則受講生の申請に基づき本学</p> <p>2. が審査をした後、休学が認められる場合があります。本制度は、振替制度を利用しても評価対象条件を満たせない場合のみ申請可能です。なお、受講生からの申請が困難な場合、当社判断により著しく困難な事由であると認められると、利用者からの申請が可能な場合があります。</p> <p>3. 総合成績確定後は、遡っての休学は一切認められません。</p> <p>4. 復学は翌開講期のみとし、休学の延長は認められません。受講形式は休学前から変更となる場合があります。</p> <p>5. 一旦休学が承認された後の取り消しは認められません。</p> <p>6. 休学後、翌開講期に受講が不可能になった場合でも、納付された受講料の返金はいたしません。</p> <p>7. クラスの受講に関する制度等については、復学時の各種学則・受講規約を適用します。</p> <p>8. 受講生からの申請が著しく困難な事由であると認められると、利用者からの休学申請が可能な場合があります。</p>	<p>休学制度に関するルールを明確化した。</p> <p>受講生からの申請を原則としつつ、利用者からの申請が可能な例外条件を規定した。</p>
第10条（クオリティ・ギャランティ（グロービス品質保証制度））	<p>1. 科目及びプログラムの評価対象条件を満たしてなお、所期の学習効果が認められなかった場合受講生本人から当スクールへの申請に基づき、審議の上、受講料全額を支払者へ返金します。</p> <p>2. 返金は、受講生本人から申請があった日から2ヶ月以内を原則とします。</p> <p>3. 当制度による返金は、1受講生につき1科目及び1プログラムのみとし、以降の当制度の利用は認めません。</p> <p>4. 当該受講生において、クオリティ・ギャランティが認められた科目及びプログラムは、以降お申込いただけません。</p>	<p>サービスの品質保証制度について、法人利用規約にも独立した条項として明記し、制度の透明性と利用条件を明確化した。</p>
第14条（受講生の投稿情報の取り扱い）	<p>1. 受講生がマイページにおいて投稿、アップロード又は編集した一切の情報、データ、文書その他のコンテンツ（以下「投稿情報」といいます。）について、当社はサービスの提供、品質向上・利便性改善、ユーザーのパーソナライズされたUI/UXの開発、新サービス及びコンテンツの研究開発、学習効率向上のための学術研究、ならびにこれらに付随する目的（以下本条において「本目的」という。）を達成するため、参照、分析、複製、加工、機械学習（Machine Learning）及び生成AI技術を用いた研究開発を行うことができるものとし、受講生並びに利用者はこれに許諾するものとします。</p> <p>2. 当社は投稿情報を善良な管理者の注意をもって厳重に管理し、本目的以外のために秘密情報を使用しないものとします。</p> <p>3. 第1項を達成するために、外部のAIサービスを利用する場合があります。この場合、秘密情報が当該外部サービスの機械学習モデルに蓄積又は再利用されないよう、契約上厳格な義務を課すツールを選定し、グロービスの定める厳守された環境下においてのみ実施するものとします。</p>	<p>受講生の投稿情報の取り扱いについて明文化した。</p>

【グロービス経営大学院】法人利用規約の新規項目一覧

項目	趣旨	修正内容
第16条（禁止事項）	<p>以下の行為が発覚した場合、当社判断にて利用者に通知の上、申込のキャンセル、受講生への受講中止措置、サービスの利用停止等を実施する場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 受講生本人以外にも利用可能もしくは閲覧可能なメールアドレス登録2. 登録メールアドレスの使いまわし3. マイページへの代理ログイン、担当者による提出物等の代理アップロード4. 受講生のスクール法人申込サイトユーザー登録（担当者を兼ねている場合を除く）	サービスの適切な利用に際し、代理ログインや不正なメールアドレス利用など、利用上不適切な行為の具体例を明確化し、禁止行為として明文化した。
第22条（権利義務の譲渡禁止）	利用者は、当社の事前の書面による承諾なく、本契約上の地位又は本契約に基づく権利義務の全部又は一部を第三者に譲渡し、又は担保の目的に供してはならないものとします。	権利義務の譲渡禁止を明確に新設した。
附則	本規約は、2026年1月7日から施行します。	施行日を追記した。

【グロービス経営大学院】法人利用規約の主な変更点一覧

項目	改定後	修正内容
第2条（用語の定義）	<p>2. 受講生とは、利用者より派遣された、本学を受講する個人を指します。</p> <p>3. 担当者とは、利用者に所属し本規約に基づく本学の利用に関する申込手続きや連絡等の事務処理を行う権限を与えられた個人を指します。</p> <p>4. 単科・Pre-MBAとは、単科生制度を利用して科目等履修生として単科生もしくはPre-MBA生対象科目の申込に関するこを指します。</p> <p>5. 受講期とは、当社が定める開講期のうち、利用者又は受講生が受講申込を行った期（4月期、7月期、10月期又は1月期）をいい、各期は3ヶ月間とします。</p>	受講生、担当者、各種プログラムの区別を明確にし、規約全体での用語の適用範囲を明確にするため整理した。
第3条（位置づけ、適用）	<p>1. 本規約は、本学の単科・Pre-MBA利用に関する基本的事項を定めたものであり、利用者が本規約に同意した時点をもって、利用者と当社の間で本規約に基づくサービス利用に関する基本合意が成立するものとし、本規約は個別の申込のすべてに適用されるものとします。</p> <p>2. 個別の申込に関わる受講契約は、利用者と当社の間で成立するものとし、以下のいずれかの時点をもって、当該個別の受講に関する具体的な権利義務（支払義務を含む）が発生するものとします。</p> <p>(1) 利用者の手続きが完了し申込済となった時点。</p> <p>(2) キャンセル待ちの状態にあった申込について、当社が席を確保した時点。</p> <p>3. 利用者は、受講生に対しその監督者として、別に定める学校法人グロービス経営大学院 学位・学則規則・受講規約もしくは、パートタイム＆オンラインMBAプログラム（英語）受講規約・学則を遵守させる義務を負うものとします。</p> <p>4. 本規約における期日等の起算基準はすべて日本標準時とします。</p>	契約締結および支払義務の発生タイミングの透明化した。 規約の国際的な適用に備えた明確化した。
第4条（受講申込）	<p>2. キャンセル待ちの申込は、申込締切日後にキャンセルとなります。</p> <p>3. 同一法人申込IDから同じクラスへの申込は原則3名を上限とします。</p> <p>4. 1受講期あたり1受講生2科目まで受講できます。</p> <p>5. 申込時には、必ず受講生本人の正確かつ最新の情報を登録するものとします。当社は、申込情報と既登録の受講生情報が同一人物であると確認した場合、申込時に登録された情報をもって受講生情報を変更することができるものとします。</p> <p>6. 受講生ダイレクト申込のうち、担当者による承認が完了していない申込について、申込締切日を過ぎても自動的にキャンセルとはなりません（キャンセル待ちを除く）。ただし、申込締切日超過後も当該承認手続きが完了しない場合には、利用者に通知したうえで、当社の判断により当該申込をキャンセルとする場合があります。</p> <p>7. 単科生、Pre-MBA生を含む科目等履修生として履修できる単位は12単位（8科目相当）までとなります</p> <p>8. D及びF評価が3回以上となった場合、原則としてそれ以降の科目等履修生としての履修は認められません。</p>	クラスの定員や学習効果を維持し、公平な利用機会を確保するためクラスの申込上限を明記した。 手続きと責任範囲を明文化した。

【グロービス経営大学院】法人利用規約の主な変更点一覧

項目	改定後	修正内容
第8条（支払義務）	<p>1. 申込に関する受講料の支払義務は、当社と利用者間で受講契約が成立した時点から発生するものとします。</p> <p>2. 原則利用者が受講料の支払義務を負担し、利用者は、当社に対して、受講料を支払うものとします。</p> <p>3. ただし、当社が認める場合に限り利用者の指示のもと受講生が受講料の支払債務を引受け利用者とともに履行することができます。この場合受講生は、当社に対して、受講料を支払うものとします。ただし、利用者は、連帯してこの債務を負うものとします。</p>	支払義務の発生時点を明文化した。
第12条（個人情報保護）	<p>5. 受講生の個人情報削除、利用の停止又は消去（以下「削除等」という）を希望する場合、当社は当該受講生及び利用者双方の事前の同意又は意思確認をもって、削除等の請求に対応するものとします。ただし以下のいずれかに該当する場合は、個人情報保護法その他の法令に基づき、当該個人情報の全部又は一部の削除又は利用停止の義務を負わないものとします。</p> <p>(1) 法令等により保持が義務付けられている場合</p> <p>(2) 学生管理や証明書発行等、本学の業務の適切な遂行に必要不可欠な場合</p> <p>(3) その他、本学の正当な権利利益を保護するために必要な場合</p>	受講生本人の削除・利用停止請求に対し、利用者（法人）の同意/意思確認を要件とすることで、法人申込の取り扱いとして、明文化し、個人情報の削除に関するルールを追加した。
第15条（スクール法人申込サイト）	<p>1. 受講申込や成績の閲覧、請求書の入手は本サイトよりお手続きください。</p> <p>2. 本サイトは当社への依頼をもって開設します。</p> <p>3. 発行された法人申込IDは第三者に譲渡もしくは貸与することはできません。</p> <p>4. 本サイトへのユーザー追加や削除、成績の閲覧権限付与、及び各ユーザーへのメール配信設定は、管理者権限を有するユーザーのみ設定することができます。</p>	利用のルールや権限設定含むサイトの利用目的・ユーザー権限に関して明文化した。
第19条（サービス利用の停止）	<p>利用停止を希望する場合、原則利用者から申請をもって行うものとします。ただし、最終申込期より5年間利用がない場合、当社判断にて法人申込IDを無効とし、サービス利用の停止を行う場合があります。</p> <p>第16条（禁止事項）に該当する行為や規約違反があった場合、当社判断にて利用停止を行う場合があります。</p>	<p>何をもって停止とするかを明文化した。</p> <p>第16条（禁止事項）が新設されたことに伴い、違反行為があった場合のサービス利用停止措置を明確にした。</p>

【グロービス経営大学院】法人利用規約の主な変更点一覧

項目	改定後	修正内容
第20条（合意管轄裁判所）	本規約及び当該申込に関する利用者と当社の間の関係は、日本法に準拠し、日本法に従って解釈されるものとします。本規約及び当該申込に関して利用者と当社の間に紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属的な管轄裁判所とします。	準拠法を日本法とし、合意管轄裁判所（東京地方裁判所）の両方を明記した。
第21条（規約の変更）	規約変更時には、当社の定める方法にて通知します。	変更時の通知方法を明記した。

GLOBIS